

民間活力を利用した樹木等管理

平成30年1月31日

国土交通省 水管理・国土保全局
河川環境課 河川保全企画室

民間活力を利用した樹木等管理

- 最上川上流域では、山形県と東北地方整備局山形河川国道事務所が、公募伐採を積極的に実施。
- 公募伐採のノウハウや課題を踏まえ、全国に先行して最上川上流域をモデルとして、河川・ダム of 樹木伐採や流木処理を、より民間業者が主体的となって行うビジネスモデル（PPP）について検討。

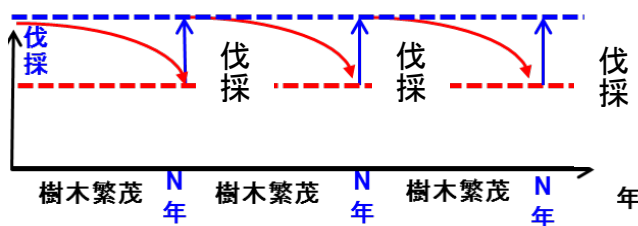
・ バイオマス発電等における樹木需要
・ 企業の事業計画（採算性）

マッチング

・ 河川管理上必要な伐採区域・樹種・伐採量
・ 流木発生頻度等

- 地域プラットフォームを形成しPPPとして継続可能な事業の枠組みや許可条件等を検討。
- 現在、民間の動向や採算性等について市場調査中であり、今後、山形県、国、最上川上流域のバイオマス発電業者等の民間事業者等で具体的な事業の枠組みについて検討中。
- そのノウハウは他地域への展開も視野。

＜民間活力を利用した樹木等管理のイメージ＞



民間事業により一定期間、一定範囲を伐採

地域プラットフォーム

- ・ 事業の採算性の検討
- ・ PPP民間活力導入の具体的な契約方式の検討
- ・ PPP民間活力導入の制度設計
- ・ 官民連携事業の理解促進に向けたノウハウの勉強会

地域プラットフォーム協議会

構成機関等

- 河川管理者（国・県）
- 民間企業（伐採者）
- 民間企業（木材利用者）

検討内容

- ・ 企業が管理できる条件（範囲や数量、現地状況など）

※地域プラットフォーム形成事業のためのコンサル派遣

＜樹木伐採とバイオマス発電等とを組み合わせたPPP事業＞

河道内樹木の伐採・集積作業



バイオマス発電施設等

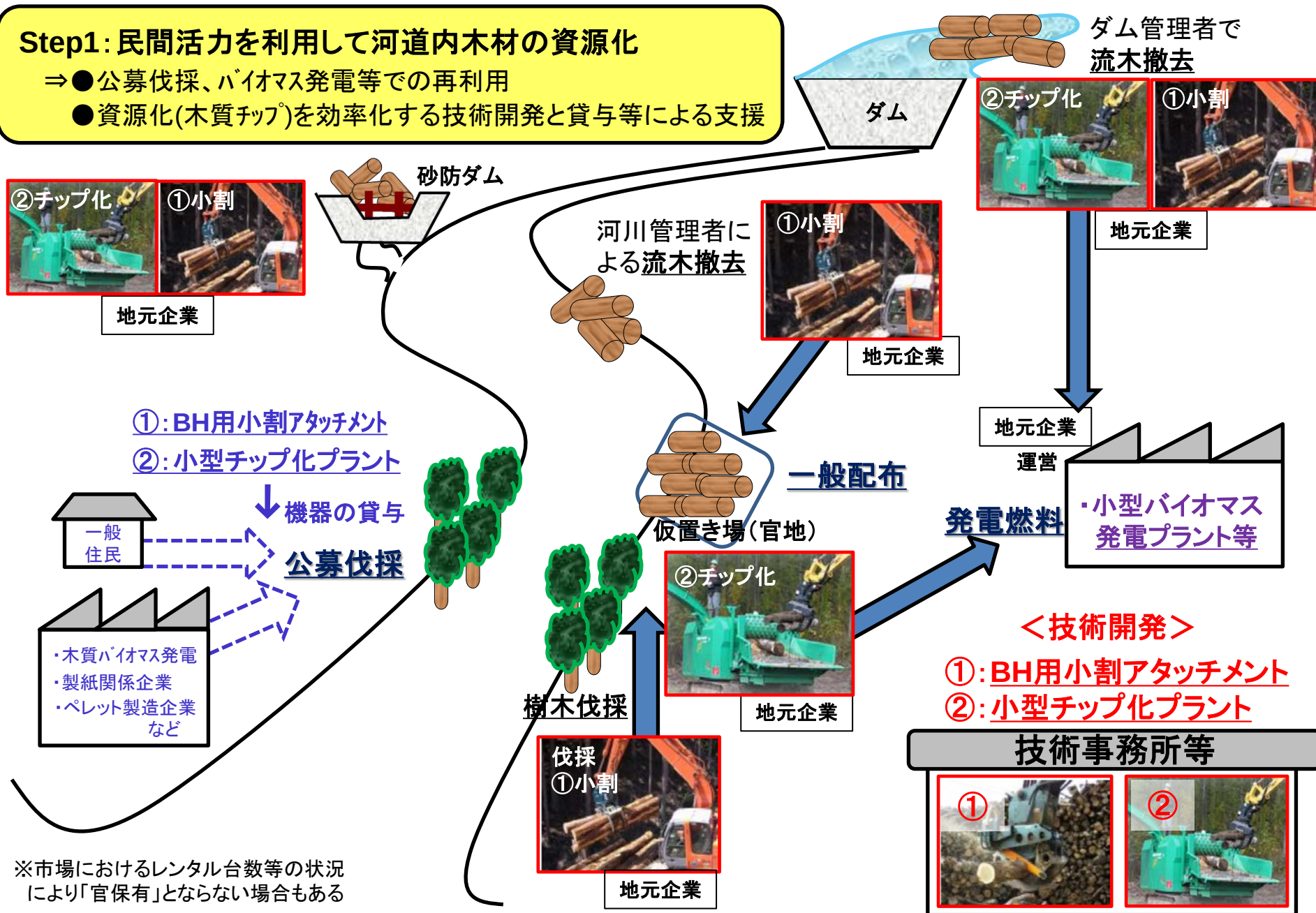


発電燃料として活用

民間活力を利用した樹木等管理

Step1: 民間活力を利用して河道内木材の資源化

- ⇒ ●公募伐採、バイオマス発電等での再利用
●資源化(木質チップ)を効率化する技術開発と貸与等による支援



民間活力を利用した樹木等管理

Step2: 河川発生の木質・刈草資源によるリサイクルの構築

- ⇒ ●バイオマス発電とEV除草機(技術開発)によるエネルギーリサイクル
- 山林等への還元(散布等)と間伐材利用促進による資源リサイクル

